

「さくらふぶき」

4歳児の子どもたちが、園庭に出て来た時のことです。

わあ、お外あったかいよ。 うん! あったかいね。 ままごとしよう。

日暖かい春風に乗って、満開の桜の花びらが、一斉に舞い始めました。

うわ〜!

子どもたちも保育者も、しばし無言で、さくらふぶきの美しさに見とれていました。

風が「通り過ぎたあとの、さくらの花びらのじゅうたんを目の当たり」にした子どもたちは大喜びです。

わあ! きれい! ピンク色だね。

いっぱい集めようよ! うん! いいかいする。

砂場でのままごとあそびにも、さくらの花びらをふんだんに使ったごちそうが並んでいました。

さくらのケーキだよ!

さくらのスーフでできた! 子どもたちのうれしそうな表情から、さくらふぶきの感動力が伝わってきました。

子どもたちが四季折々のふるさとの自然に親しむことができるよう、かかっています。かかっています。

冷蔵庫で保存した花びらを使って、誕生会でも、さくらふぶきを再現することができました。

おめでとう!

「行ってきまーす!」

ままごとのごちそうを、いっぱい詰め込んだ"バック"を手に、4歳児のNちゃんとOちゃんが、お出かけに出発します。

うん!

Oちゃん、そろそろ出かけましょう?

いそいそ

Nちゃん、Oちゃん、どこへ行くの?

あのね、おばあちゃんが病気になるの。だから、ごちそうを持ってお見舞いに行くの。

まあ、ステキね。でも途中に、かわいなおおかみがいるかもしれないから、気をつけてね。

その言葉に顔を見合わせた2人は、思わず「にこり」!

赤ずきんちゃん、どこに行くの?

気をつけるね。

うん! わかった。赤ずきんのお話のイメージが、2人の気持ちをワクワクさせたようです。

2人はお部屋をぐるっと回ると、

ただいまー!

お帰りなさい。おおかみは大丈夫だった?

うん! たったわたしたち、魔法使っておおかみをやっつけたんだもん。

うん! そうだよね。

友だちと一緒にあそぶことを楽しむことが、できるよう、援助していきたく思います。